

令和7年度 学区等における地域防災力向上事業

実施報告書



令和7年12月

瀬戸内市総務部危機管理課

目 次

1	事業の目的	p. 1
2	実施日程	p. 1
3	役員会等日程	p. 2
4	実施結果	
	第1回 避難所勉強会『避難所における課題と運営にあたってのポイント』	p. 3
	第2回 避難所シミュレーション	
	『どうする!!わたしたちの避難所 ～牛窓西小学校で避難所運営をやってみよう～』	p. 5
	第3回『避難所運営訓練』（瀬戸内市総合防災訓練）	p. 9
5	まとめ	p. 14
	「牛窓西小学校 避難所レイアウト」	p. 15

1 事業の目的

大規模災害が発生した場合、市内の広域にわたって被害の発生が想定されています。特に、学校等の公共施設には多くの住民が避難し、混乱の中で長期間の避難生活を送ることが予想されるため、平常時のうちから学区等の単位において自主防災活動を展開し、顔の見える関係づくりに努めるとともに、住民が避難所運営を主体的に実施できるような体制を整備する必要があります。

そこで、令和7年度は、牛窓町鹿忍地区を対象として「学区等における地域防災力向上事業」を実施し、鹿忍地区まちづくり協議会自主防災会の協力のもと、鹿忍地区社会福祉協議会、瀬戸内市消防団鹿忍分団、牛窓西小学校等とも連携して、避難所運営に関する研修・訓練を実施しました。

2 実施日程

令和7年11月8日(土)に牛窓西小学校で開催する瀬戸内市総合防災訓練において、住民主体の避難所運営訓練を実施することを目標として、事前に避難所運営に関する研修会を2回実施しました。

日時	タイトル
令和7年8月3日(日) 10:00～12:00	第1回 避難所勉強会 『避難所における課題と運営にあたってのポイント』
令和7年9月20日(土) 9:30～12:00	第2回 避難所シミュレーション 『どうする!?わたしたちの避難所 ～牛窓西小学校で避難所運営をやってみよう～』
令和7年11月8日(土) 10:00～11:10	第3回 防災訓練 『避難所設置・運営訓練』(瀬戸内市総合防災訓練)

鹿忍地区の/
**避難所運営を
考えよう!**

令和7年度
学区等における
地域防災力
向上事業

過去の災害の教訓から、行政主体の災害対応では限界があり、住民主体の防災対策を
進めていく必要があると言われています。
特に、避難所には様々な課題から多くの方が避難し共同生活を送るため、住民、
行政、ボランティアなどが協力して課題を乗り越えていく必要があります。
そこで、令和7年度は鹿忍地区のみなさんと一緒に「避難所運営」について学びます。
瀬戸内市で大規模災害が発生した場合、鹿忍地区ではどのように避難所を運営して
いけば良いのか、みんなで一緒に考えていきましょう!

第1回
避難所勉強会
日時: 令和7年8月3日(日) 10時～12時
場所: 牛窓町公民館2階 大講堂
定員: 60名 参加費: 無料
住民主体の避難所運営を実施するため、
災害に関する基本的な知識や過去の災害
で発生した様々な課題について知り、
避難所運営に必要な考え方を学びます。

第2回
**避難所運営
シミュレーション**
日時: 令和7年9月20日(土) 9時半～12時
場所: 牛窓西小学校
定員: 60名 参加費: 無料
避難所で発生する様々な出来事を図面上
で体験し、避難所運営のポイントや課題
について参加者どうして考え合います。

第3回
避難所運営訓練 (瀬戸内市総合防災訓練)
日時: 令和7年11月8日(土) 9時～12時(予定)
場所: 牛窓西小学校
取り組みの集大成として、実際に体育館を使って
避難所運営訓練を行います。
大規模災害を想定し、地域住民が主体となって
避難所を立ち上げてみましょう。

【お問い合わせ】 瀬戸内市総務部危機管理課 TEL: 0869-22-3904 MAIL: kik@city.setouchi.jp

事業周知用チラシ

どうする!?
わたしたちの避難所

もしも、牛窓西小学校で避難所運営することになったら、
どのような工夫や配慮が必要でしょうか...?
安全安心な避難所運営のためには、**鹿忍地区の皆さんの力
が必要**です! みんなで一緒に考えてみましょう!

**牛窓西小学校で
避難所運営を
やってみよう**

（令和7年度 学区等における地域防災力向上事業 第2回 避難所シミュレーション）

令和7年
9月20日(土)
9時30分～12時00分 (開場: 9時00分)

**参加
無料**

会場 **牛窓西小学校 体育館**
講師 **どうする!?わたしたちの避難所
～牛窓西小学校で避難所運営をやってみよう～**
講師 **瀬本浩一氏 岩本憲治氏**
定員 **60名** (申込員に限り、申し込みを締め切ります)

★小学校5年生から参加可能です。
★小さなお子様連れの方は、会場内の
「こどもひろば」をご利用いただけます。
注) 託児ではありませんので、保護者の方
の監督のもとでご利用ください。

申込方法 申込締切: 9月12日(金)まで
●鹿忍地区在住の方
自治会に取り組みをお申込みください。
(回覧にご協力をお願いします)
●牛窓・長浜地区の方、防災リーダー、
避難生活支援リーダー/サポーター、
防災士の方など
右のQRコード又はメール等
にてお申し込みください。
★「氏名」「自治会名」「電話番号」
をご記入ください。

【お問い合わせ・お申込み先】
瀬戸内市総務部危機管理課 TEL: 0869-22-3904 FAX: 0869-22-3299
E-mail: kik@city.setouchi.jp

第2回 研修会 周知用チラシ

3 役員会等日程

本事業では、鹿忍地区まちづくり協議会自主防災会をはじめとして、多くの関係者の皆様にご協力いただきました。また、各研修・訓練の実施に当たっては、事前に打ち合わせを行い、地域住民への参加呼びかけや運営へのご協力をお願いしました。

日時	会議名	内容
令和7年5月20日(火) 18:30～19:30	鹿忍地区まちづくり協議会自主防災会 打ち合わせ	・事業概要について ・研修および訓練運営への協力の お願い
令和7年7月1日(火) 10:00～11:00	牛窓西小学校 打ち合わせ	・事業概要について ・研修および訓練時の学校使用に ついてのお願い
令和7年7月15日(火) 9:30～12:00	鹿忍地区社会福祉協議会 打ち合わせ	・事業概要について ・地区社協役員等への参加呼びかけ のお願い
令和7年7月22日(火) 18:30～19:30	鹿忍地区まちづくり協議会自主防災会 打ち合わせ	・第1回(8/3)の実施内容および地域 住民への参加呼びかけのお願い ・第2回(9/20)の実施内容について ・意見交換
令和7年10月15日(水) 18:30～19:30	鹿忍地区まちづくり協議会自主防災会 打ち合わせ	・訓練(11/8)の流れについて ・訓練時の役割分担について ・地域住民への回覧・参加呼びかけ のお願い

4 実施結果

●第1回 避難所勉強会『避難所における課題と運営にあたってのポイント』

(1)日時 令和7年8月3日(日) 10:00～12:00

(2)場所 牛窓町公民館 2階 大講座室

(3)参加者数 45名

(4)講師 山口大学大学院 創成科学研究科 准教授／瀬戸内市市政戦略アドバイザー 瀧本浩一 氏

- (5)内容
- ・はじめに、市危機管理課から事業の目的やスケジュール等について説明しました。
 - ・次に、瀧本准教授から、①各家庭における日頃の備え(自助)の重要性、②自主防災組織による防災・減災活動(共助)の考え方、③避難所で発生する課題や環境づくりのポイント、などについて説明がありました。
 - ・瀧本准教授からは、「居」(避難所のレイアウトとゾーニングの問題)、「食」(食事の問題)、「什」(設備、備品の問題)の観点から説明がありました。また、過去の災害を踏まえて、災害関連死の防止や女性等に配慮した環境づくり(安全性の確保、運営負担の平等化、相談・サポート体制の整備など)についても説明がありました。

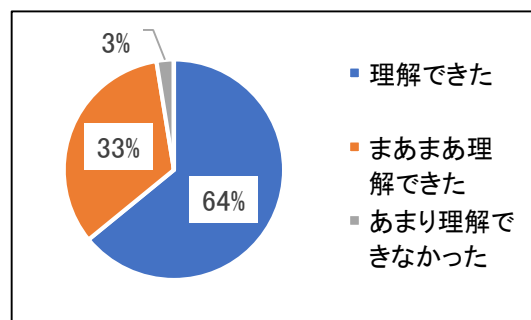


(6)アンケート結果

1. 本日の研修会の内容は理解できましたか？

(1つ選択)

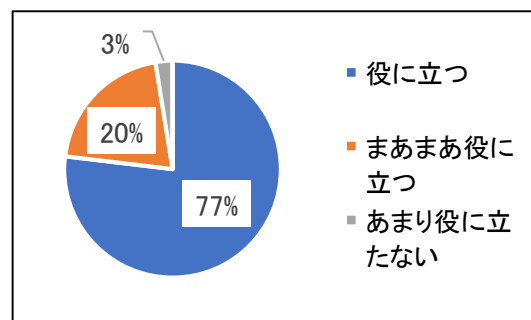
- ☐理解できた 25名
☐まあまあ理解できた 13名
☐あまり理解できなかった 1名
☐理解できなかった 0名



2. 講義の内容は、実際の避難所運営で役立つと思いますか？

(1つ選択)

- ☐役に立つ 30名
☐まあまあ役に立つ 8名
☐あまり役に立たない 1名
☐役に立たない 0名



3. 今日の講座で新たに学んだこと、ためになったことなど、自由にお書きください。

- ・避難所運営で考えるべきことが、私の想像以上にあって驚いた。
- ・地震の実際の長さや強さを教えていただいたことで、実際の危険を想像することができました。また、避難訓練には「非常持出袋」を忘れないようにしたいと思います。
- ・普段から少しずつ準備はしているつもりも、不足品などさらに用意したいと思います。ハザードマップを確認したいと思います。
- ・家具の固定を見直したい。携帯トイレの購入を考えたい。
- ・地域と行政と連携を密にする必要性。居住場所の確保に対する意見交換が必要。
- ・阪神淡路や東北の震災時の実例がためになった。女性の意見が大切と思いました。
- ・災害関連死をいかに減らすか、勉強になりました。女性視点の大切さを再認識しました。具体的な講義なので、とてもよかったです。
- ・高齢者や乳幼児などに対するケアが重要なポイントになると思う。特に食事・トイレなど。
- ・現状、地域の防災活動ができていないので、まずはできることから進めていきたい(「予防」:物品のまとめ購入、ハザードマップの配布、老人会との協力で耐震診断・補強のチェック、非常持出品のチェック、など)。
- ・オアシスルームの設置が必要だと思いました。

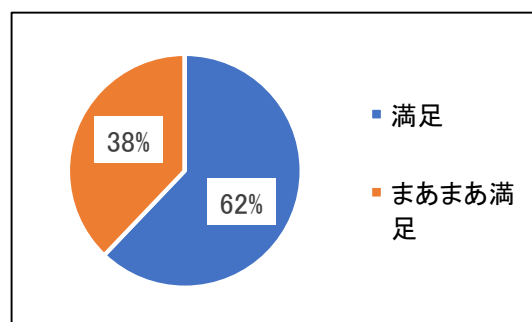
4. 避難所運営について、もっと詳しく聞きたいこと、疑問・不安に思うことなど、自由にお書きください。

- ・3日間避難所で暮らす時、食事はとれるか。また、自分で用意するとき、どこまで用意すればよいか。
- ・運営に当たって誰が何を担当するのか、役割分担を考えるときの留意点は？問題が起こったときの対処をどうするのか？
- ・季節(夏・冬)、時間帯(昼・夜)での運営に当たっての注意点。平日昼間など、地域に若者がいない時の運営上の注意点。
- ・今、西小学校にはどれだけの設備があるか知りたい。
- ・トイレの準備について。
- ・いろいろな問題、課題等に対する精神面。相談サポート体制について。
- ・避難所、女性カウンセラー派遣で言われましたが、市内で可能なのでしょうか？
- ・鹿忍地区では最近外国からお仕事に来られている方が多数住んでいます。中には日本語のできない方もいます。小学生にもいる状況も考えておかななくてはと思います。
- ・避難所が地区ごとに整備されていない。避難所まで遠すぎる。

5. 本日の研修会の満足度を教えてください。

(1つ選択)

- ☐理解できた 23名
- ☐まあまあ理解できた 14名
- ☐あまり理解できなかった 0名
- ☐理解できなかった 0名



●第2回 避難所シミュレーション

『どうする!!わたしたちの避難所 ～牛窓西小学校で避難所運営をやってみよう～』

(1)日時 令和7年9月20日(土) 9:30～12:00

(2)場所 牛窓西小学校 体育館

(3)参加者数 40名

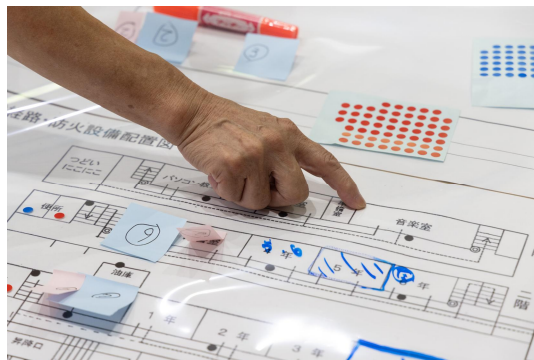
(4)講師 山口大学大学院 創成科学研究科 准教授／瀬戸内市市政戦略アドバイザー 瀧本浩一 氏
減災研究会 岩本憲治 氏

(5)内容

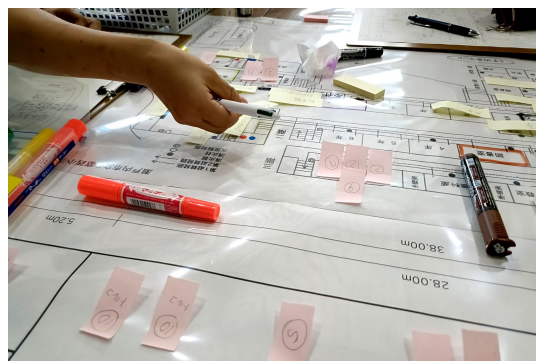
- ・牛窓西小学校での避難所運営について、学校の敷地図を用いてグループで検討しました。
- ・当日は、牛窓西小学校の教頭先生にもご参加いただきました。実際に避難所となる施設を使用して、施設管理者と地域住民とが一緒に検討する取り組みは、市内で初めての試みでした。



・校内を巡回したり、実物に触れて確認したりしながら、避難者の受け入れや各種スペースの設置、資機材の保管場所などについて議論しました。



- ・高齢者や障害者、乳幼児、妊産婦、体調不良者、ペット同伴避難者、外国人など、様々な背景を持った方がいます。そうした方々への配慮について、事前に検討しておくことが大切です。
- ・学校等の施設管理者においては、いち早く事業を再開させることも重要です。限られたスペースを活用し、被災者の安全安心を確保するためには、住民、施設管理者、行政が連携し、関係団体やボランティア等の協力を得ながら、円滑な避難所運営を目指す必要があります。

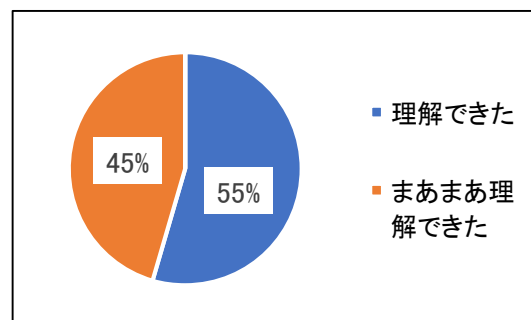


(6)アンケート結果

1. 本日の研修会の内容は理解できましたか？

(1つ選択)

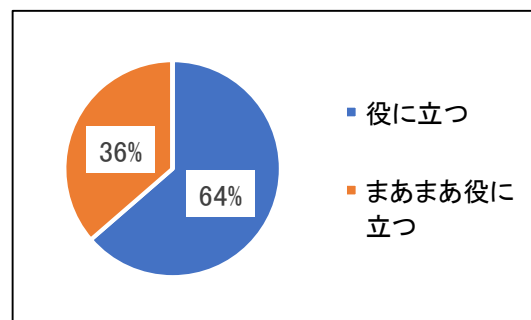
- ☐理解できた 18 名
☐まあまあ理解できた 15 名
☐あまり理解できなかった 0 名
☐理解できなかった 0 名



2. 講義の内容は、実際の避難所運営で役立つと思いますか？

(1つ選択)

- ☐役に立つ 21 名
☐まあまあ役に立つ 12 名
☐あまり役に立たない 0 名
☐役に立たない 0 名



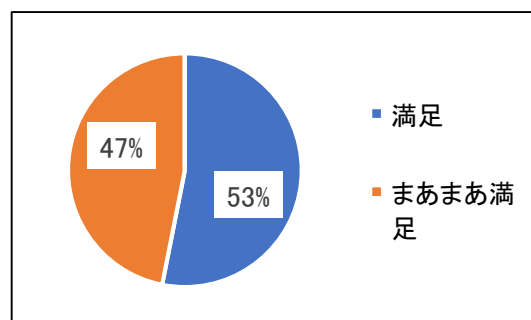
3. 今日の講座で新たに学んだこと、ためになったことなど、自由にお書きください。

- ・避難所開設の大変さが分かりました。
- ・地域の方と一緒に「考える」ことができて良かったです。
- ・避難所運営について初めて考えましたが、どの内容も役に立つと思いました。
- ・避難所運営を実施する際の具体的な手段について考えることができた。
- ・想定と現場の確認が重要。お互いに話し合うことが大切だと感じた。
- ・地域のコミュニケーションが大事だと思いました。
- ・行政相談窓口、介護者専用スペースを設ける必要がある。
- ・様々な背景を持った避難者に対応できるような避難所運営が必要だと分かった。
- ・どの部屋で、どんな避難者を受け入れるのか、時系列に沿って考えておきたい。
- ・準備物、配置など、検討事項が多いことに驚きもあり、改めて事前に考える必要性を感じました。
- ・実際に災害が起きたときに、この研修のことを思い出すことがあると思うので、有意義なことだと思う。

4. 本日の研修会の満足度を教えてください。

(1つ選択)

- ☐理解できた 17 名
☐まあまあ理解できた 15 名
☐あまり理解できなかった 0 名
☐理解できなかった 0 名



5. 鹿忍地区における防災の取り組みについて、今後必要だと思うことがあれば、自由にお書きください。

- ・各自治会に持ち帰って情報共有することが大切だと思いました。
- ・身近なところでの防災訓練等の必要性を理解してもらうことが必要。
- ・もっと地区の特徴を知っておくべきだと思う。
- ・施設の開錠や立ち上げを誰がするのか、役割を決めておくこと。
- ・避難所が開設された際の連絡をどのようにするのか決める必要がある。
- ・体育館へのエアコン設置。
- ・学校の鍵の管理や備蓄物資について相談したい。
- ・避難所から遠い地区の人の避難先をどうするのか。
- ・季節ごとの避難訓練が必要。可能なら夜間の訓練も。
- ・若い世代(50代、40代、30代)が取り組むことが大切！

●第3回『避難所設置・運営訓練』(瀬戸内市総合防災訓練)

(1)日時 令和7年11月8日(土) 10:00～11:10(市総合防災訓練の開催時間は9:00～11:30)

(2)場所 牛窓西小学校 体育館

(3)参加者数 約100名

(4)訓練スケジュール

時間	項目	内容
10:00～10:20	非常持出袋の確認	・各自持参した非常持出袋を周りの人と見せあう。
10:20～11:00	避難所設置・運営訓練	・体育館内の各種スペースを、住民主体で設置する。 ・訓練を通して気づいたことや改善点等を付せん紙に記入し、模造紙に貼る。
11:00～11:10	振り返り	・市危機管理課からまとめ。

- (5)内容
- ・はじめに、各自持参した非常持出袋について、お互いに見せあい、意見交換をしました。
 - ・参加者は、「夜間の避難に備えてライトを準備した」「普段使っているものを入れた」「子ども連れでも持って行ける最低限の量にした」など、様々な工夫を紹介しあっていました。
 - ・避難先でも安心して過ごせるよう、医薬品や眼鏡、補聴器、離乳食、おむつなど、自分や家族の特性に応じて必要なものをあらかじめ準備しておくことが大切です。



・次に、「避難所設置・運営訓練」を実施しました。体育館内の居住スペースのほか、「受付」「物資スペース」「配食・フリースペース」「情報スペース・相談窓口」について、鹿忍地区まちづくり協議会自主防災会役員を中心に、住民主体で設置に取り組みました。



- ・「居住スペース」では、通路を広くとるとともに、間仕切りを設置するなどプライバシーへの配慮が必要です。また、段ボールベッド等の簡易ベッドには、エコノミークラス症候群や呼吸器疾患の予防、体温維持、睡眠の質の改善などの効果があります。
- ・高齢者や障がい者などの要配慮者については寝床を整えたり、トイレに行きやすい場所を割り当てるなどの配慮が必要です。



- ・「受付」では、避難者に対して必要な支援を実施・要請するため、「避難所利用者登録票」を記入していただくなど、いち早く避難者情報を整理することが大切です。また、中長期的な避難所運営では、「入所受付」のほか、「退所者受付」「来訪者受付」なども必要となります。
- ・「物資スペース」では、不足しているものなどを把握し、速やかに支援を要請することが大切です。あわせて、物資置き場の担当者には女性も配置するなど、避難者への心理的配慮が必要です。

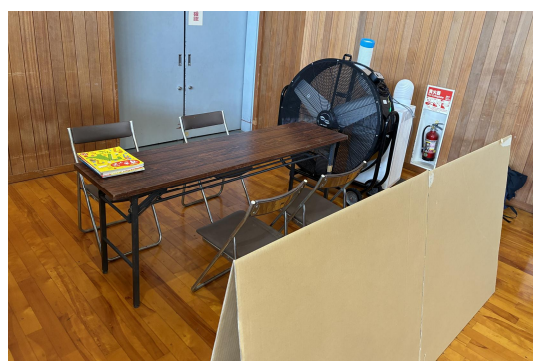


- ・事前に考えたレイアウトでは、「受付スペース」は体育館の下足場に設置する予定でしたが、参加者が相談し、混雑を避けるために体育館の外のスペースに設置することになりました。図面上で検討したものを、実際に訓練として立ち上げてみて、適宜修正していくことが大切です。
- ・なお、避難所には入所者だけでなく、在宅避難者や車中泊避難者などが物資や支援情報を求めて来る場合があります。避難所は、地域で不自由な暮らしを送る被災者の支援拠点としての機能があることにも留意が必要です。

- ・「食事・フリースペース」では、清拭消毒やごみの分別など、衛生面への配慮や、食物アレルギー等への配慮が必要です。
- ・避難所で支給される食事は、「肉類・揚げ物類が多い」「弁当が冷たく、食べると下痢をする」「菓子パン類が多い」など、高齢者には適さない場合があります。避難者のニーズを把握し、食事の内容を見直していくことが大切です。
- ・また、避難者が一緒に食事をするスペースを設けることで、避難者どうしで情報交換ができたり、心のケアに繋がったりすることができます。



- ・「情報スペース」では、様々な情報が掲示されるため、避難者に対して、どこに・どんな情報があるかを分かりやすく掲示することが大切です。子どもや外国人でも情報を受け取りやすいよう、ふりがなを付けたり、「やさしい日本語」を使用するなどの工夫があると良いでしょう。
- ・「相談窓口」では、プライバシーが確保されたスペースでの対応を行うなど、避難者が安心して相談できる環境を整えることが大切です。今回は体育館内に相談窓口を設置しましたが、必要に応じて別室を設けるなどの対応も良いでしょう。相談内容に応じて、医療、保健、福祉などの専門機関等と連携するなど、適切な支援体制を整えることも重要です。



- ・最後に、全体を通して気づいたことや改善点等を付せん紙に記入し、模造紙に貼ってもらいました。



【参加者が記入した付せん紙の内容】

- ・ベッドに寝たときに歩行者と目が合って気まずい。
- ・ホワイトボードなど、伝言板のような場所があったら良い。
- ・被災者支援に関する情報で、あらかじめ準備できるものは用意しておくが良い。
- ・直に床に座るより、マットだけでもあったほうが良い。
- ・男女の更衣室に幕が無い。もっと離れたほうが良いかも。
- ・鹿忍地区の被害状況や、地区別の避難人数の表示が欲しい。
- ・支援物資に、離乳食やミルク、介護食も必要。
- ・お風呂に入れないことを想定して、水のいらないシャンプーやウェットティッシュがあるとよい。
- ・子どもが遊べるスペースがあると良い。不用になったおもちゃを寄付してもらい、ストックしておくのはいかがでしょうか。
- ・簡単な傷の手当などができる救護スペースが必要。
- ・初めて段ボールベッドを作った。災害が起きたとき、また作りたい！

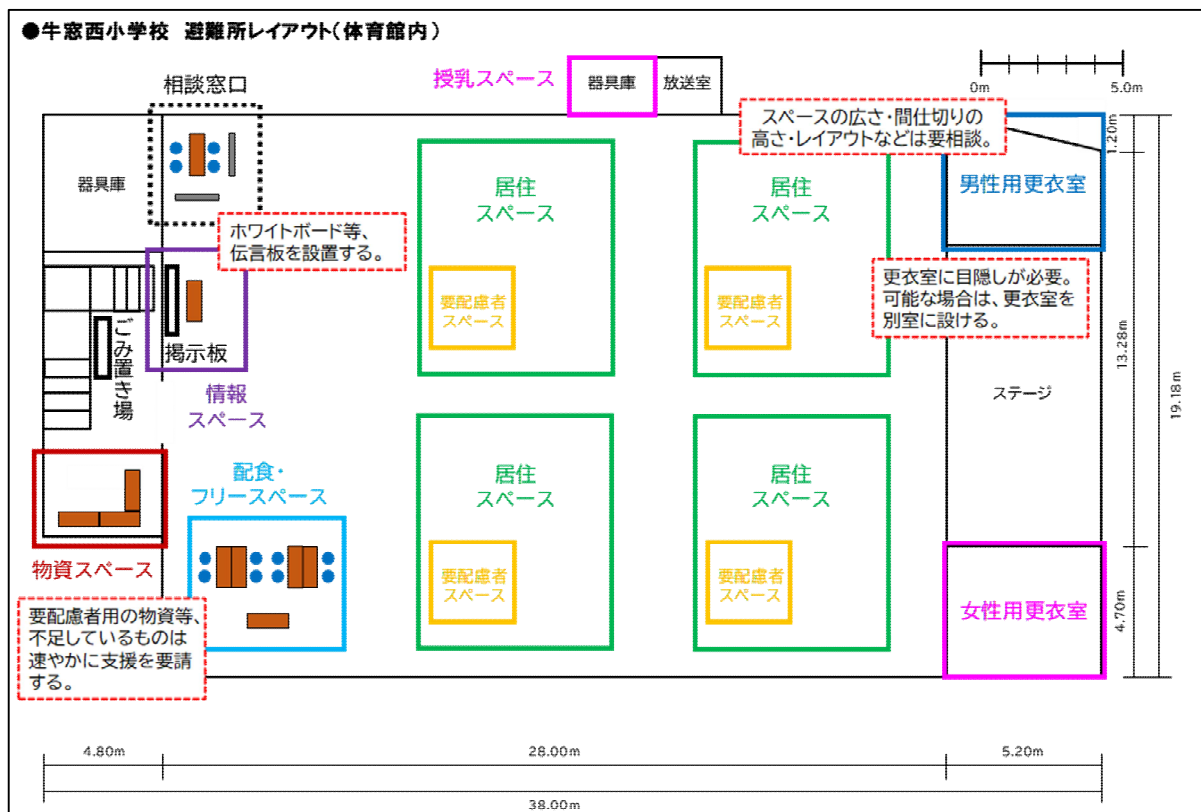
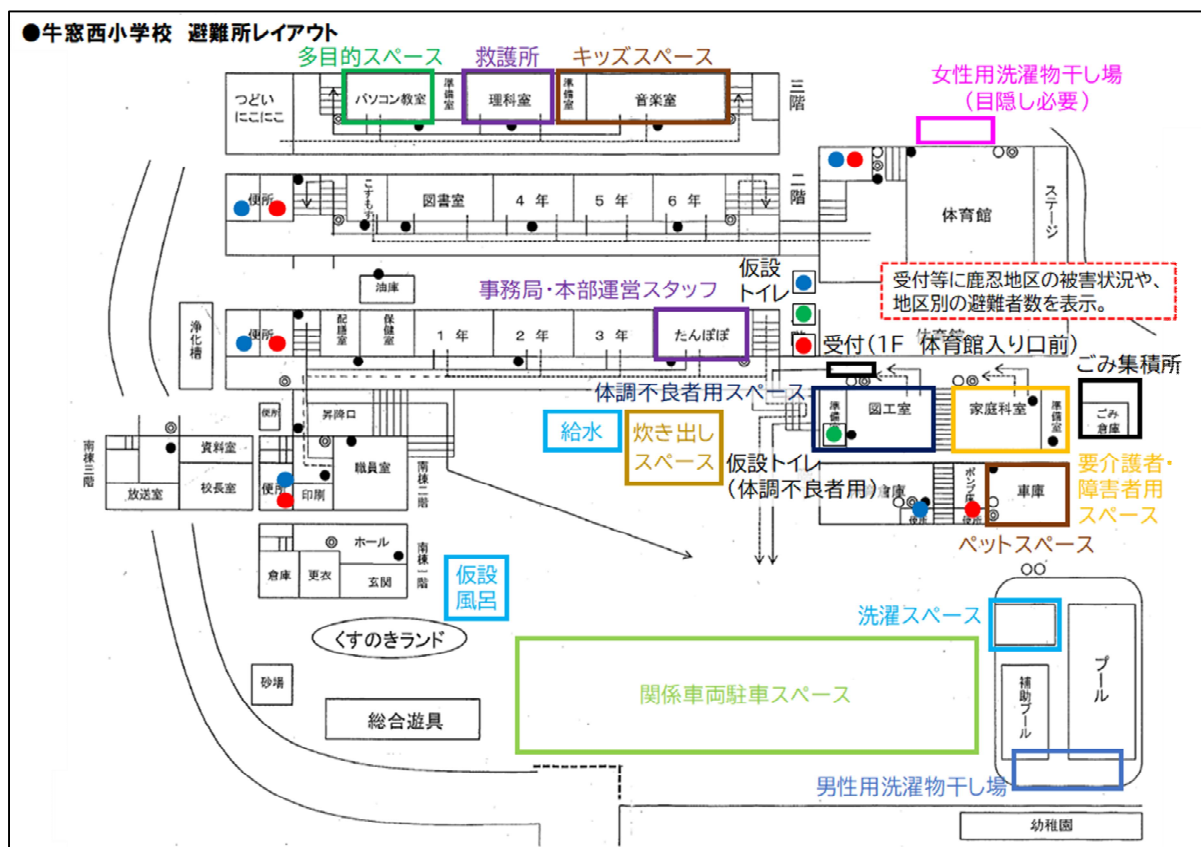
5 まとめ

研修や訓練で出た意見を踏まえ、「牛窓西小学校 避難所レイアウト」を作成しました(p.15)。住民のニーズや避難所となる施設の実態を反映させたレイアウトを平常時のうちから作成することができ、円滑な避難所運営の実施につながる有効な取り組みとすることができました。

なお、本事業において作成したレイアウトは、あくまでも現時点でのものとなります。今後は、鹿忍地区まちづくり協議会自主防災会を中心に、必要に応じて内容を見直すなど、より良いレイアウトとなるよう努めていただけますと幸いです。また、市では、自主防災組織が実施する研修・訓練等の防災活動や、防災資機材の整備等に係る費用を助成する補助金を整備していますので、有効に活用してください。

引き続き、住民が避難所運営を主体的に実施できる体制の整備に向けて、地域、学校(施設管理者)、行政が連携した取り組みを展開していきたいと思います。

＊「牛窓西小学校 避難所レイアウト」



●牛窓西小学校 避難所レイアウト（9/20の研修会で住民の皆さんから出た意見を整理）

避難所で必要なもの

【受付】

- ・筆記用具 ・付箋 ・携帯充電器 ・消毒液 ・マスク ・名札 ・体温計
- ・救急セット ・マジックペン ・ガムテープ ・懐中電灯 ・新聞紙 ・翻訳機

【掲示スペース】

- ・ホワイトボード ・ホワイトボードマーカー ・マーカー消し

【配食スペース】

- ・ウエットティッシュ ・ティッシュ ・ビニール袋 ・ごみ箱

【居住スペース】

- ・机 ・パーティション ・拡声器 ・照明器具

【支援物資】

- ・紙おむつ ・薬

令和7年度 学区等における地域防災力向上事業 実施報告書

令和7年12月

発行 瀬戸内市総務部危機管理課

〒701-4292

岡山県瀬戸内市邑久町尾張300-1

TEL 0869-22-3904 FAX 0869-22-3299